

## 令和3年度事業報告

### はじめに

令和3年度は、定時総会における役員改選によって選出された京極高宣会長、升田忠昭理事長をはじめとする16名の理事、2名の監事による体制で承認された事業計画に則り事業を実施しました。

令和3年度事業は、令和2年度以上の猛威を振るった新型コロナウイルス感染症によって、公益事業、収益事業ともに多大な影響を被りました。特に、自治体委託の介護予防事業や小学生対象の体験研修など接触・対面型は中止となってしまいました。一方、オンライン等の新たな手法を導入した部門は、活用を拡大、事業に合わせて改善を図りました。中止となった事業に対しては、コロナ禍での事業継続の可能性を探り、再開に向けて自治体等との協議に努めました。

### 総会・理事会の開催

令和3年度総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Zoomによるオンラインと対面による直接参加の混合型会議で執り行いました。役員改選を行い、理事16名、監事2名が選出されました。例年、実施している会員交流会は今回も開催を見送りました。

日時 令和3年6月24日（議決権行使書等）出席73名

令和3年度理事会は、定款に基づき以下の通り7回、全てZoomによるオンライン併用で会議を実施しました。

回	理事会日程	主な議題
1	令和2年5月20日	理事・監事の任期満了による役員改選、総会案内
2	// 6月8日	令和3年度定時総会議案
3	// 6月24日	代表理事（会長、理事長）の選出
4	// 7月29日	令和3年度第1四半期各事業報告
5	// 10月28日	令和3年度第2四半期各事業報告
6	令和4年1月20日	令和3年度第3四半期各事業報告
7	// 3月24日	令和3年度第4四半期各事業報告 令和4年度事業計画、内閣府報告事項（令和4年度事業計画）

## 会員の動向に関して

### 《個人会員》

令和4年3月末会員数は、個人会員801名（正会員103名、賛助会員537名、配偶者会員161名）となり、前年度より134名減少しました。会員の減少傾向は続いています。

	会費納入			会費未納			合計		
	3月末	前年同月	前々年	3月末	前年同月	前々年	3月末	前年同月	前々年
正会員	93	101	116	10	27	20	103	128	136
賛助会員	433	402	474	104	200	200	537	602	674
配偶者会員							161	204	230
合計	526	503	590	136	227	220	801	934	1,040

	会費納入会員						会費滞納会員				配偶者 会員
	正会員		賛助会員		合計	前年 比	正会 員	賛助 会員	合計	前年 比	
	人数	前年比	人数	前年比							
北海道	1	0	13	-1	14	-1	1	0	1	0	8
東北	5	1	43	1	48	2	0	12	13	-9	18
関東	72	-4	149	-5	221	-9	5	50	73	-49	82
信越	2	0	5	-3	7	-3	0	3	3	-3	3
中部	4	0	54	-9	68	9	0	16	17	-15	14
近畿	4	-3	33	-1	37	-4	2	4	7	-6	12
中国	3	-1	54	-7	57	-8	1	1	2	-2	17
四国	1	0	47	40	48	40	0	4	4	-3	1
九州	1	-1	25	-2	26	-3	1	14	16	-4	7
合計	93	-8	433	31	526	10	27	104	136	-91	161

### 《法人会員》

法人会員は、1社が入会、2社が退会、合計15社（法人賛助会員11社、団体賛助会員4社）で昨年度16社から1社減少しました。尚、団体賛助会員は、「会員及び会費等に関する規程」の改定（平成29年5月）に伴い、現在、新規募集を行っていません。

法人 賛助	久光製薬（株）、トッパン・フォームズ（株）、あいおいニッセイ同和損害保険（株）、（一社）日本青少年育成協会、（一財）高齢者住宅財団、NPO法人SSSネットワーク、NPO法人東京山の手まごころサービス、NPO法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構、YKK AP（株）、（一社）日本産業カウンセラー協会、（公財）テクノエイド協会
団体 賛助	NPO法人日本心身機能活性療法指導士会、東友会関東支部、NPO法人りすシステム、（公財）さわやか福祉財団

## 事業に関して

令和3年度は、令和3年度事業計画に則り、公益事業及び収益事業を以下の通り実施しました。

今年度の法人決算は、コロナ禍による事業中止などの影響が多大であった収益事業を中心に予算を下回った結果、収入が**15,713万円**（対前年度比**-2,953万円**）となり、支出費用は**15,754万円**（対前年度比**-1,518万円**）となり、収支はマイナス**40万円**となりました。

令和3年度

(単位=円)

	収入	支出	収支
予算	166,158,000	166,158,000	0
実績	157,137,383	157,540,716	-403,333

## 【公益事業報告】

### 【公1事業】 《高齢者福祉増進・啓発事業》

#### ○高齢者の福祉・健康・いきがづくり等支援事業 (千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理)

千葉県福祉ふれあいプラザ（ふれプラ）の指定管理者として法令を遵守し、承認された事業計画に基づき、NPO法人ACOPAとの共同事業体で運営しました。感染症防止のため日々の清掃等、衛生管理を強化、啓発を繰り返し、恐れていたクラスターの発生を免れたことは令和3年度最大の成果といえます。

##### ・運営評価

令和3年度は、第四期指定管理（平成31年4月1日～令和3年3月31日）の最終年度でした。コロナ感染症は収束せず、10月～12月以外は緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置が適用されたため、前年より少し上向いたものの利用者数、利用料はともに伸び悩みました。

その中で、専門職研修におけるオンライン研修の定着化、介護予防トレーニングセンターにおけるZOOM活用による研修など新たな試みに挑戦し、コロナ禍での公共施設の役割を模索、さらにステップアップして実行した意義ある一年となりました。

9月に第5期指定管理者応募申請を行い、12月の千葉県議会にて福祉ふれあいプラザ第5期指定管理者として選定されました。

##### ・介護実習センター

県民研修のうち一般県民研修は49講座、専門職研修は35講座、合計85講座4,325人（前年度2,812人）が受講しました。内、オンライン研修は20回2,064人と（前年度1,156人）を大幅に上回りました。感染症下で取組みを始めたオンライン研修の定着は大きな成果です。

##### ・介護予防トレーニングセンター

登録累計者数715人で利用者の更新手続き失念・高齢化が進み昨年度より124人減となりました。年間利用者数は26,511人で前年度比138%、介護予防講習は年間394回行い、前年度より300人以上多い9,535人が受講しました。しかし、前年度は休館があったため、その影響を差し引くと利用者数は、前年度並みの水準でした。

##### ・ふれあいホール

年間利用者数は44,780人で、昨年度より1万3,000人ほど増えましたが、昨年の休館期間を差し引くとほぼ前年度水準でした。蔓延防止重点等措置適用期間が繰り返し適用され、ホール文化利用は、合唱やカラオケなどのサークル発表会など高齢者中心に利用されているため、影響が大きかったです。また、スポーツ利用の社交ダンス、バスケットボールなどソーシャルディスタンスが取りにくい種目は利用不

可として人数制限も継続したため利用者数が伸びませんでした。スポーツ種目の制限は令和4年4月に解除します。

	R4 年度予算	R3 年度実績	R2 年度実績
総利用者数 (人)	110,000	89,562	63,606
利用料収入 (円)	20,010,000	16,887,170	11,422,050
収支 (円)	0	2,474,145	2,112,824

## ○福祉サービスの質の向上事業

### (福祉サービス第三者評価事業)

WAC の福祉サービス第三者評価事業は、東京都から第三者評価者機関としての認証を受けて実施しています。評価した報告書内容は東京都から公表されます。東京都は、新型コロナウイルスが感染拡大した令和2年度から評価方法の特例を順次発表しました。評価機関である WAC は、特例である新しい評価方法の対応に努め、オンラインの活用は令和2年度に比べて大幅に増加しました。

コロナ禍において、高齢者や障害者、保育園等の第三者評価を行うことは、感染リスクはもとより、施設や職員、利用者にとっても非常時であり、面会・外出等の制限の長期化は、昨年度以上に通常とは異なる福祉サービスの現状を垣間見ることになりました。

令和3年度は、利用者に対する調査を行った事業者数は53件(評価49件、利用者に対する調査4件)に上り、契約先の内訳は、自治体(墨田区、品川区、荒川区、台東区、港区)28件、民間25件と、年間50件以上の実績は5年連続となりました。

サービス事業の種別内訳は、①高齢者福祉46件(特別養護老人ホーム、ショートステイ、通所介護、認知症高齢者GH、居宅介護支援、訪問介護、軽費老人ホーム)、②障害者福祉2件(障害者支援施設、児童発達支援)、③子ども家庭5件(保育園、母子生活支援)でした。特に、社会的養護の分野である母子生活支援施設の評価を3年連続で行い、多様なサービス種別に対応できる評価機関として成長しています。

## ○長寿社会の啓発事業

### (「ふれあいねっと(会員向け情報誌)」の発行)

機関誌「ふれあいねっと」は、282号から284号まで、各12ページの1,500部発行し、会員及び関係各所に配布しました。年3回以上の発行は平成30年度以来となります。

	発行月	主な内容
ふれあいねっと 282号	R3年8月	定時総会、事業報告、WACポイント活動一覧
ふれあいねっと 283号	R3年12月	成年後見制度、パラリンピックボランティア
ふれあいねっと 284号	R4年3月	認知症、長谷川元会長追悼、WACさわやか清水の活動

公1事業

(単位=円)

	収入実績	支出実績	収支実績
高齢者の福祉・健康等支援	82,415,747		
福祉サービスの質の向上	17,705,140		
長寿社会の啓発事業	0		
合計	100,120,887	105,988,469	-5,867,582

**〔公2事業〕 《高齢者の雇用・就労支援事業》**

**（「みなと＊しごと55」港区アクティブシニア就業支援センター）**

令和3年度は、港区アクティブシニア就職支援センター「みなと＊しごと55」の最後の年度になりました。東京都及び港区からの委託業務（シニアの無料職業紹介事業）であった同センターの閉館が令和2年度末に決定し、通常就職支援事業と並行して閉館に向けた作業を行いました。

閉館直前まで、一人でも多くの求職者が希望の就職を実現できるよう、高齢者でも安心して相談に訪れることができる環境作りに努め、相談業務においては専門カウンセラーが対応、求職者自身の働き方・職業の選択などについて幅広い相談に対応しました。コロナ禍で目標数字には届かなかったものの、滞りなく閉館作業を遂行しました。

**令和3年度事業実績報告 (人)**

	目標	実績
求職者数	1,200	863
求人開拓延べ人数	2,500	3,113
紹介件数	300	322
就職者数	230	99

主な開催イベント（規模縮小等感染防止対策を強化して実施）

- ・再就職支援セミナー 6月11日／受講者15人、9月10日／受講者21人
- ・就職面接・相談会 6月18日／求職者18人、9月17日／求職者18人
- ・シニアしごとEXPO 第1回：10月7日 新宿、第2回：10月26日 立川
- ・シニアお仕事フェア in 目黒区 10月21日（木）

**公2事業 (単位：円)**

収入実績（補助金）	支出実績	返還額	収支実績
25,569,000	24,285,994	1,283,006	0

**〔公3事業〕 《地域の相互扶助機能活性化事業》**

**（コミュニティカフェ）**

令和3年度のコミュニティカフェ養成研修は、埼玉県、千葉県、東京都の3か所で実施し、参加延べ人数は467名に上りました。

公益財団法人いきいき埼玉（埼玉県伊那町）で実施した研修は、満50歳以上を対象とした「埼玉未来大学」の講座で、府中市の開設講座は3年連続で実施、WACは研修企画運営を委託されました。

- ・埼玉県コミュニティカフェ研修 10月2日（土）～2月5日（土）全15回 延べ253名
- ・千葉県福祉ふれあいプラザ一般県民研修 9月26日（日）～12月5日（日）全9回 延べ145名
- ・府中市市民活動センター共催コミュニティカフェ開設講座  
1月9日（日）～3月27日（日）全9回 延べ69名

**公3事業 (単位＝円)**

収入実績	支出実績	収支実績
1,611,940	1,414,504	197,436

## 【収益事業報告】

### 〔収1事業〕

#### ≪高齢者福祉関係人材育成事業≫

自治体からの受託は、上半期前半は入札が不調でしたが、8月に入り足立区、新宿区、江東区2件と入札に成功し、介護の入門研修や認知症サポーターステップアップ研修などの高齢者福祉関連の人材育成を実施しました。

#### ・新宿区 介護の入門的研修&おしごと相談会

11月10日～11月29日(セミナー1日、研修6日間) 30名定員 参加者20名

#### ・江東区 ①認知症サポーターステップアップ研修

日程 1月13日～2月24日 2H×5日 参加者25名

#### ②福祉のしごと相談・面接会

第一回8月、第二回2月ともに中止

#### ・足立区 福祉のしごと就職フェア事業

日程 第一回11月17日 参加者65名

第二回1月22日 // 40名

#### ・東京しごと財団 生活支援サービス研修

第1回 飯田橋会場 5月11日～19日 ビデオ配信

第2回 三多摩会場 7月6日～20日 第3回 三多摩会場 9月7日～16日

第4回 飯田橋会場 10月18日～29日 第5回 飯田橋会場 3月20日～2月1日

第6回 国分寺会場 3月2日～10日

参加者数 20名

### 収1事業

(単位=円)

収入実績	支出実績	収支実績
12,669,708	9,952,878	2,716,830

### 〔収2事業〕

#### ≪高齢者・認知症疑似体験事業≫

昨年度に引き続き、台東区の小中学校の体験学習委託が中止となるなど貸出事業が低調でした。つくし君の貸出2件は和歌山県と台東区で、コロナ禍でも合計97人の小学生が体験しました。

インストラクター研修の個別研修は、現地出張での対応のため昨年度は中止となりましたが、個別研修もオンラインによって実施して受講生数を増やすことができました。

インストラクター研修と合わせて体験者数は、高齢者199人、認知症77人、計276名となりました。

#### ・高齢者疑似体験

貸出3件(2件は「つくし君」、体験者数109人)

販売はサマーセールと年度末セールを実施、年間28件(社協15、大学4、その他8)の実績

#### ・認知症疑似体験

貸出1件、体験者73人

#### ・インストラクター養成研修

インストラクター養成研修は、昨年度に引き続き、コロナ禍に対応したZoomによるオンライン研修として実施しました。定期研修は4回開催、個別研修は2件対応しました。

	令和3年度		前年度	
	回数	人数	回数	人数
インストラクター養成研修				
高齢者疑似体験	6	90	2	24
認知症疑似体験	1	4	2	8

収2事業

(単位=円)

収入実績	支出実績	収支実績
5,636,754	7,087,867	-1,451,113

〔収3事業〕

《介護予防事業》(品川区委託事業)

- ・ 男の手料理教室、
- ・ 地域活動連携型介護予防事業(わくわくクッキング)、
- ・ 外出習慣化事業(食事処)

高齢者の介護予防事業として、品川区から平成15年より委託を受けて実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業は2年連続で中止になりました。令和4年度再開に向けてコロナ禍でも可能な実施方法を区と協議した結果、事業の再開が決定しました。WACポイントの「WACさしすせそ」と運営しています。

収3事業

(単位=円)

収入実績	支出実績	収支実績
606,226	9,562	596,664